

節電実践計画 (小売・サービス業版 2011年6月)

この節電実践計画シートは、自社で対策を行う設備を特定し、実際の節電量を算出するものです。これにより、正確な節電量の目標設定と、明確な実践対策が行えます。『節電・計画停電対策マニュアル(小売・サービス業版)』と併せてご活用ください。なお、節電対策を簡易に行う場合には、『節電対策チェックシート(小売・サービス業版)』をご使用ください。

契約電力・使用電力	
営業時間： ～ 、月間営業日数： 日	
契約電力： _____KW	昨年夏の使用電力量(ピーク月)： _____KW
目 標：昨年夏の使用電力量(ピーク月) _____%、 _____円	
節電担当者・社内体制	
総責任者：	
リーダー：	

対策を効果的に実行するには、[実践計画]・[節電活動]・[節電量確認]・[対策見直し]の繰り返しが大切です。節電実践計画では、**現状データの把握や具体的な目標の作成**を行います。



- 節電対策が可能な設備をピックアップし、[設備名]に記入します。
- 記入例を参考に[節電対策前の使用電力]と[節電対策後の使用電力]を算出し、記入します。
- 節電対策前後それぞれの合計値から[電力量の合計値の差]を計算し、下記の計算式から[月当たりの節電量]を算出します。

$$\text{月間節電割合} = \frac{\text{電力量の合計値の差} \times \text{月間営業日数}}{\text{昨年夏のピーク月使用電力量}}$$

使用電力量は請求書で確認します。

[記入例]

設備名	節電対策前の使用電力			
	電力(W)	稼働時間	台数	電力量(kwh)
照明設備	例:蛍光灯 会議室	40	× 7	× 50 ÷ 1000 = 14.0
	例:間接照明	80	× 8	× 10 ÷ 1000 = 6.4
空調設備	例:冷房 執務室	1600	× 8	× 10 ÷ 1000 = 128.0
OA 機器	例:デスクトップ PC	163	× 8	× 12 ÷ 1000 = 15.6
	例:コピー機	60	× 1	× 1 ÷ 1000 = 0.1
<u>対策前合計</u>				164.1 kwh

設備名	節電対策後の使用電力				備考
	電力(W)	稼働時間	台数	電力量(kwh)	
照明設備	例:蛍光灯 会議室	40	× 6	× 50 ÷ 1000 = 12.0	稼働時間短縮
	例:間接照明	80	× 2	× 2 ÷ 1000 = 0.3	間引き使用
空調設備	例:冷房 執務室	1440	× 7	× 10 ÷ 1000 = 100.8	設定温度 2 変更
OA 機器	例:デスクトップ PC	163	× 7	× 9 ÷ 1000 = 10.3	ノート型に変更
	例:コピー機	60	× 0	× 1 ÷ 1000 = 0	待機電力カット
<u>対策後合計</u>				123.4 kwh	

[記入欄]

行数が足りない場合は、コピーして使用してください。

設備名		節電対策前の使用電力			
		電力(W)	稼働時間	台数	電力量(kwh)
照明 設備		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
空調 設備		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
冷凍 冷蔵		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
OA 機器 その他		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		×	×	÷ 1000	=
		<u>対策前合計</u> kwh			

節電対策後の使用電力				備考
電力(W)	稼働時間	台数	電力量(kwh)	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
×	×	÷ 1000	=	
<u>対策後合計</u> kwh				

[対策前合計] [対策後合計] [1kwh 当たり電力量料金] [月間営業日] [節電目標]
 { (kwh) - (kwh) } × (円) × (日) = (円)